

M-Bond A-12 Part A

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	製品識別名	
	製品名	M-Bond A-12 Part A
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	混合物。
	EINECS 番号	混合物。
	REACH登録番号	割り当てられていない。
1.2	化学品の推奨用途と使用上の制限	
	記載されている用途	接着剤。
	~に対して助言された用途	知られていない。
1.3	供給者の詳細	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
	電話	+44 (0) 1256 462131
	F a x	+44 (0) 1256 471441
	Eメール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com
1.4	緊急連絡用電話の番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	物質または混合物の分類	
2.1.1	欧州CLP規則 (No.1272/2008)	皮膚腐食性 区分2; 膚刺激性。 皮膚感作性 区分1; 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 眼刺激性物質 区分2; 重大な目への刺激を引き起こす。 水生環境有害性 慢性区分2; 長期継続的影響により水生生物に毒性。
2.1.2	指令67/548/EECおよび規則(1999/45/EC)	Xi; R36/38: 目および皮膚を刺激する。 R43: 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 N; R51/53: 水生生物に対して有毒であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
2.2	表示要素	
	製品名	欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば M-Bond A-12 Part A

改訂: 1.1 日付: 05.08.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

危険性を表す絵文字



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H315: 膚刺激性。
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H319: 強い眼刺激。
 H411: 長期継続的影響により水生生物に毒性。

危険有害性情報

P273: 環境中への放出を避ける。
 P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。
 P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
 P333+P313: 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

2.3 他の危険有害性

EUH205: エポキシ成分を含む。メーカーの情報を参照。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質 製剤/混合物中の物質

3.2 混合物

EC分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	危険有害性情報
bisphenol-A-(epichlorhydrin) epoxy resin (number average molecular weight ≤ 700)	>60	25068-38-6	500-033-5	眼刺激性物質 区分 2; H319 皮膚腐食性 区分 2; H315 皮膚感作性 区分 1; H317 水生環境有害性 慢性区分 2; H411
無害の原料	<40	-	-	分類されていない。

改訂: 1.1 日付: 05.08.2015

www.vishaypg.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	EC 分類 と リスク警句
bisphenol-A-(epichlorhydrin) epoxy resin (number average molecular weight ≤ 700)	>60	25068-38-6	500-033-5	Xi; R36/38: 目および皮膚を刺激する。 R43: 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 N; R51/53: 水生生物に対して有毒であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
無害の原料	<40	-	-	分類されていない。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚接触

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

摂取

飲み込んだ場合でも、有害とは思われない。必要とは思われないが、必要であれば症状に基づいて処置する。

4.2 最も重要な症状および作用（急性および遅発性）

エポキシ成分を含む。メーカーの情報を参照。目と皮膚を刺激する。

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

知られていない。症状によって処置する。

5. セクション 5: 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。

5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素、

5.3 消防士へのアドバイス

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水へ

改訂: 1.1 日付: 05.08.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

の混入を避けること。

6. セクション 6: 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 適切な換気を確保する。危険がなければ漏出を遮断する。蒸気の吸入を避ける。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。
- 6.2 環境的予防措置 排水路、下水道または水路に入らないようにする。(海洋汚染物質)
- 6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材 流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。この素材と容器は、危険廃棄物として廃棄すること。
- 6.4 他のセクションの参照先 次の項を参照: 8, 13

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- 7.1 安全な取り扱いのための注意事項 適切な換気を確保する。蒸気を吸入してはならない。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。
- 7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)
保管温度 常温の。2 - 43 °C
保管期間 普通の状態安定。
混触危険物質 次のものから離して保管する。酸化剤類。、不慮のアミンとの接触, 強い。酸類。とアルカリ類。
- 7.3 具体的最終用途 接着剤。

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

- 8.1 管理指標
- 8.1.1 職業暴露限度 確立されていない。作業場の暴露基準
- 8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。
- 8.1.3 PNEC および DNEL

DNEL bisphenol-A-(epichlorhydrin)	口	吸入	経皮
産業 - 長期 - 全身作用	-	12.25 mg/m ³	8.33mg/kg bw/day
産業 - 短期間 - 全身作用	-	12.25 mg/m ³	8.33mg/kg bw/day
消費者 - 長期 - 全身作用	0.75mg/kg bw/day	-	3.57mg/kg bw/day
消費者 - 短期間 - 全身作用	0.75mg/kg bw/day	-	3.57mg/kg bw/day

改訂: 1.1 日付: 05.08.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

PNEC	bisphenol-A-(epichlorhydrin)
水系	PNEC aqua (freshwater) 0.006 mg/L PNEC aqua (marine water) 0.0006 mg/L PNEC aqua (intermittent releases) 0.018 mg/L PNEC STP 10 mg/L PNEC sediment (freshwater/marine water) 0.0996 mg/kg sediment dw
土壌	PNEC soil 0.196 mg/kg soil dw

8.2 暴露管理

8.2.1 適切な工学的管理

適切な換気を確保する。

8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

必要な個人用保護具を使用する。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。
皮膚および目との接触を避ける。

目/顔面の保護



液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。

皮膚の保護



不浸透性手袋を着用すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。使用する手袋の種類は、作業の内容と時間および取り扱う物品の濃度/量に基づいて選択しなければならない。

呼吸器の保護



通常、呼吸用保護具は必要ない。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	茶色。粘性の液体。
におい	弱い。エヤルシ樹脂 におい
臭いの閾値	資料なし。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	-16 °C (bisphenol-A)
初留点と沸騰範囲	~320°C (bisphenol-A)
引火点	>= 264 <= 268°C (bisphenol-A)
蒸発速度	資料なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。
上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	資料なし。

改訂: 1.1 日付: 05.08.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

蒸気密度	資料なし。
相対密度	1.26 (H2O = 1) (混合物。)
溶解度	資料なし。
分配係数: n-オクタノール/水	>= 2.64 <= 3.78 log Pow (25 °C) (bisphenol-A)
自然発火温度	該当なし。
分解温度	>350°C (bisphenol-A)
粘度	資料なし。
爆発性	資料なし。
酸化性	非酸化性。
9.2 その他の情報	なし。

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態 で安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態 で安定。
10.3 危険な反応の可能性	燃焼または熱分解により、有毒な刺激性蒸気が発生する。
10.4 避けるべき条件	製品を次の値を超える温度(°C)に加熱すると、分解することがある: 300
10.5 混触危険物質	酸化剤類、腐食性、物質、還元剤、強い酸類、とアルカリ類、アミン
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。フェノール性、一酸化炭素、二酸化炭素、

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
急性毒性	
摂取	分類されていない。
吸入	分類されていない。
皮膚接触	皮膚腐食性 区分 2
目の接触	眼刺激性物質 区分 2
刺激性	眼刺激性物質 区分 2; ウサギの目に軽い刺激を与える。皮膚腐食性 区分 2; ウサギの皮膚に軽い刺激。(bisphenol-A)
腐食性	分類されていない。
感作性	Skin Sens. 1; bisphenol-A-(epichlorhydrin) Sensitisation (マウス LLNA)
反復投与毒性	分類されていない。
発がん性	発がん性の証拠はない。
変異原性	突然変異性を引き起こす潜在力があることを示す証拠はない。
生殖毒性	データなし。
11.2 その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	bisphenol-A 海洋汚染物質に分類されている。 bisphenol-A Oncorhynchus mykiss 魚類: LC50 = 1.2 mg/L (96h) bisphenol-A Daphnia magna 水生無脊椎動物: LC50 = 2.7 mg/L (48h)
12.2	残留性および分解性	成分の一部が低生分解性である。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
12.4	土壌中の移動度	製品は土壌中で移動性が低いと予想される。(水に不溶。)
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	この物質や容器は有害廃棄物として処理する。(2001/118EC). 法律に従い、前処理後にしかるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。
13.2	追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

14. セクション 14: 輸送上の注意

14.1	国連番号	ADR/RID / IMDG / IATA UN 3082
14.2	適切な船積み名	環境的に有害な物質、液体、N.O.S. (Epoxy Resin)
14.3	輸送危険分類	9
14.4	輸送危険分類	III
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質 / 環境的に有害な物質
14.6	使用者に対する特別な注意事項	目と皮膚を刺激する。
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	なし。.

15. セクション 15: 適用法令

15.1	目/顔面用保護具を着用する。	
15.1.1	EU規制 使用の承認および/または制限	なし。.
15.1.2	国の規制	知られていない。
15.2	化学物質安全性評価	資料なし。

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS) と 既存の ECHA 登録 bisphenol-A-(epichlorhydrin) (CAS# 25068-38-6).

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
皮膚腐食性 区分 2; H315	閾値計算
皮膚感作性 区分 1; H317	閾値計算
眼刺激性物質 区分 2; H319	閾値計算
水生環境有害性 慢性区分 2	閾値計算

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	v P v T: 高難分解性、高毒性
OECD	Organisation for Economic Cooperation and Development

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 (法的なあるいはそうでない) はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません (欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。